



## 福寿園 2022年新茶初摘み行事 3月18日(金)一足早く新緑の息吹をお届け

京都府木津川市相楽台「福寿園CHA遊学パーク」(温室茶園)

☆ インスタライブでも配信

(株)福寿園(京都府木津川市、福井正興社長)は3月18日の早朝より、同社CHA遊学パークの温室茶園で新茶の「初摘み行事」を行った。行事の目的は、新緑のいぶき「新茶」の香りを一日も早く顧客に届けると共に、発育状況、加温による促成栽培や被覆による優良茶の研究、周年栽培の研究、緑茶生産技術の向上を目指す。

当日は、伝統的な茶摘み娘による茶摘み風景を再現し、やわらかくみずみずしい新芽を丁寧に手摘みで収穫。製茶された『春一番新茶』(15g税込2,160円)は翌日19日には、京阪神地区の福寿園店舗から順次販売予定。

新茶の品質については、「今年は、2月に気温が上がらず、例年よりも新芽が小ぶりで、収穫数量は少し減少したが、風味が良く、うま味が多い、品質の良い美味しいかぶせ茶に育った。」また、今回初めて、インスタライブで当日の様子を配信した。

☆ インスタライブのURL(福寿園CHA遊学パークInstagramアカウント)

<https://www.instagram.com/p/CbPAxiHov4J/>



「春一番新茶」

### 【栽培茶園の概要】

▽栽培面積=約300㎡

▽栽培方法=点てき給液方式

▽栽培品種=さみどり 15年生

▽保温=1月15日より茶園PO被覆  
(パイプハウス型)

▽加温=2月10日より十分な灌水と室温最低約10℃に加温

▽萌芽=2月24日

▽予想数量=生葉30kg 製茶後4.5kg

▽摘み子の数=約15人(うち衣装着用は4名)

### 【参考】

一般茶園は、萌芽日: 平年4月5日(京都府茶業研究所データ)、摘採の目安は萌芽日の翌日から数えて30~35日目。本年の露地の摘採が例年通りとすると、今日の茶摘みは約1カ月半早いことになる。

